

令和5年3月24日

保護者の皆様

相模原市立くぬぎ台小学校  
校長 桂徳 泰彦

## 令和4年度 教育活動保護者アンケート・

### 学校生活アンケート（児童）結果報告

日頃より、本校の学校教育へご理解・ご協力いただき心より感謝申し上げます。

昨年末に保護者の皆様にお願ひした「学校教育活動アンケート」と全校児童に質問した「学校生活アンケート」の集約結果について報告いたします。

尚、結果のグラフについては、カラーで見ていただいた方が分かりやすいと考え、昨年と同様にホームページにアップしました。是非ご参照ください。

#### ○「学校」についてのアンケート（保護者対象）

アンケートの結果や記述内容に触れると、保護者の皆さんのお子さんを大切にする気持ちや教育に対する期待を強く感じます。

保護者の皆さんを対象とした「学校」についてのほとんどの項目で「とてもそう思う」または「そう思う」という「そう思う（満足できる）」群の回答をいただきました。

今年度は、3年ぶりの実施となった水泳学習や、運動会や学年音楽会への参観を各家庭2名とするなど基本的な感染対策を講じながらも、安心・安全な学校生活を第一と考え教育活動を進めてきました。しかし、アンケートの記述などを拝見すると、「子供たちの学校生活の様子をもっと見てみたい」や「タブレットを活用してほしい」などのメッセージをたくさんいただきました。マスク着用は任意など、政府の方針が大きく変化していますが、学校教育では、「子供たちの学びを止めない」ことを最優先し、コロナ前の学校生活を取り戻すことができるようコロナ後の学校運営を考えていきます。

また、昨年同様、教職員へ自信や励みとなる言葉をたくさんいただいています。その一部を紹介します。

#### 【記述欄より】

- ・ 何年ぶりかに、一般的な授業を参観させてもらったように思います。見せる授業参観というよりも、普段このような雰囲気勉強してるんだなあということ、雰囲気の良さを見させてもらうことができ、私は個人的にとてもうれしく拝見してもらいました。ありがとうございました。
- ・ コロナの中遠足、授業参観や、運動会を工夫して開催してくださり、今年は運動会を、家族が二人見学出来コロナになってから、なかなか見れない姿を家族も見ることが出来て、とても良かったです。
- ・ 授業参観・スポーツ大会が各家庭2名は見に行けるようになって良かったです。5時間目に授業参

観でその後に懇談会など、2 学期～は保護者が参加しやすい時程に戻してもらい助かりました。

また、今年度は、街探検などの体験活動や、保護者ボランティアなどの募集が増えて、小学校が地域・保護者に開かれていると感じました。

- ・ 表現は、隊形移動が多く、その点は良くご指導いただいたなと思いました。娘は家でも毎日必ずソーラン節を練習していました。6年生よりも格好良く踊るんだと。

来年は最終学年。最後くらい、子ども達が心から楽しめるスポになることを切に願います。衣装の面でも遠目に映える表現を期待します。

- ・ 授業参観などで毎回、我が子はもちろん、周りの子の目覚ましい成長も感じ、担任の先生をはじめ、先生方のご指導に感謝しています。

デジタルの良さを取り入れつつ、バランス良く担任の先生が指導してくださったおかげで、書く読む話すなどの基本的な学習習慣が我が子に身に付いてきて安心しました。

また、お二人の担任の先生が、学年で協力して進めてくださっていることもありがたいです。教科担任制・学年レクなど、来年度以降も続けてもらえたら嬉しいです。

今後も（コロナ禍でも）子ども同士の触れ合い活動や、保護者・地域との積極的な交流を大切にしてくださいとありがたいです。

- ・ 担任の先生は子供のことで相談すると、毎回とても親身になってくださいます。どうしたら良いかわからないことを相談するので、私自身もとても勉強になりますし、先生の考え方に、息子の担任でよかったなぁと思うことが何回もありました。

- ・ コロナ禍で、色々規制があるとは思いますが、学年を超えて、交流があるのは、良いことだと思いました。お手紙をもらったり、一緒に遊んだりしてもらったことが、嬉しかったと話してくれました。高学年の子供たちも、低学年の子を気遣って、優しい言葉をかけたり、責任感も芽生えて、成長を感じました。

- ・ 授業や学校行事などで、相模原市の歴史、地理、伝統について学ぶ機会が多く、大変有意義であると感じています。学年を超えた交流の機会では、思いやりであったり、互いに学びあうことができるため素晴らしいと思います。今後もこのような機会を期待しておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

- ・ 娘は学校が大好きです。何故かを問うと、毎年「授業の楽しさ」を 1 番の理由にあげます。子どもは素直です。多忙を極める中、学ぶことが楽しいと思える授業を日々展開してくださっている先生方や学校の取り組みには、感謝の言葉しかありません。ありがとうございます。

- ・ 感染症対策を考えた上で、参観や懇談会等の保護者が参加する機会を作ってください、ありがとうございます。

また、保護者参加の行事は早めに手紙等で連絡いただけるので、都合をつけやすく、とても有難いで

す。

子ども達のことはもちろん、保護者のことも考えてくださっていることが伝わり、親子共々、安心して学校生活を楽しませていただいています。先生方や職員の皆様の教育に対する姿勢や様々なご配慮に感謝申し上げます。

#### 【授業参観について】

- 授業参観については、昨年度より2ポイント下がり、約94%が「そう思う（満足できる）」群という結果でした。授業参観は、感染状況を考え、時程の分散、参観者の制限、2時間枠での参観など、保護者の皆さんに参観していただけるよう、工夫して実施してきました。

感染状況が落ち着けば、これまでのような授業参観の実施も視野に入れています。

ただし、人数制限を緩和する代わりに、保護者の皆様にマスクの着用をお願いするなど、協力をいただくことがあるかもしれません。ご理解とご協力をお願いいたします。

### ○タブレットの活用について

タブレット活用やオンライン学習について、アンケートでは「そう思わない（不十分である）」群に約13%の回答をいただきました。くぬぎ台小学校では相模原市教育委員会の指導の下、研修会に参加すると共に校内での研修を充実し、学齢に応じたタブレット等のICT機器の活用にも今後努めて参ります。タブレットの持ち帰りの頻度や家庭学習での使い方について、よりよい形を模索しています。

記述欄には、タブレットやメール等の効果的な活用方法として、持ち物等の連絡をしてほしいというご意見をいただいております。学校だよりや学年だよりについては、ペーパーレス化を検討しています。また、特別な持ち物については、学年だより等で事前にお知らせします。しかし、学校では、子供たちが時間割や持ち物をメモなどに書き、自分で準備をすることも学習の一部だと考え、大切にしていきたいと考えています。

### ○「学校生活」についてのアンケート（児童対象）

#### ○「学校は楽しい」「分かりやすい授業」「先生への相談のしやすさ」について

3つの項目について「そう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた「そう思わない（不十分である）」群の割合が12%～17%と微増しています。この3つの項目は、本校が掲げる「世界一笑顔あふれる楽しい学校」に関わることであり、大きな課題だととらえています。

児童と保護者のアンケート結果に差を見ることができるのが「学級」あるいは「学校」生活を楽しんでいるかという項目です。保護者の皆さんのほとんどが、お子さんの様子を見て、学級生活を楽しんでいると評価いただき、同様に、学級担任への信頼度も高くなっているところです。

また、児童が授業に対して、「分かりやすい」と回答しているのに対し、保護者アンケートでは、基礎的な学力に対する期待が高いことも特徴的です。

昨年同様、その割合が少しでも少なくなるよう、授業改善に努め、児童に寄り添う姿勢を大切にしていきます。子供たちの素敵な笑顔が一つでも増えるよう、安心・安全で楽しい学校づくりを目指します。

## ○「あいさつ」「言葉遣い」について

「あいさつ」については約90%、「言葉遣い」については85%の児童が「そう思う（満足できる）」群となっています。保護者回答では、83%、79%と「そう思う」群の割合が少ない結果となっています。この差については、保護者の皆さんの期待が表れているのではと考えています。

あいさつは、「おはようございます」や「いただきます」だけでなく、相手の目を見てあいさつしたり、笑顔で手を振ったりできる子がたくさんいるなど、その質の高さを感じています。また、言葉遣いについても、教職員は、子供たちの手本となるよう正しく美しい日本語を使うよう心がけています。

また、授業中には「〇〇さん」と敬称をつけて友達を呼んだり、場に応じた言葉を選んだりする子がたくさんいます。「あいさつ」や「言葉遣い」の良さを伝えると共に、たくさんの手本を示していきたいと考えています。

## ○「しっかり聞く」「自分の意見や考えを伝える」について

・「話をしっかりと聞く」は昨年に比してわずかにポイントを下げましたが、相変わらず93%と高く、話を聞く姿勢が定着しています。

一方、「自分の意見や考えを伝える」については、昨年同様、1/4の児童が「そうは思わない（不十分）」と回答しています。保護者アンケートでは、数値的に数ポイント下がりますが、同様に「自分の考えを伝えること」に対する定着に課題があるという結果でした。

話すことと聞くことは、表裏一体ですが、「相手の目を見る」や「頷きながらメモをとる」など、良い聞き方のポイントが明確であることにに対し、「話す」ポイントは、「分かりやすく」や「論理的に」など抽象的です。昨年同様、話を聞いてくれる雰囲気や話しやすい環境作りに努めると共に、スピーチの技能向上にも取り組んでいきます。

## ○「休み時間の外遊び」「なかよし遊び」「友達となかよく過ごす」について

外遊びについては、1/3の児童が「そう思わない（不十分である）」群という結果でした。

一方、「なかよし遊び」や「友達となかよく過ごす」は、90%以上の児童が「そう思う（満足できる）」群となっていて、保護者アンケートの結果は、さらに高く、96%の方が友達となかよく過ごしていると評価しています。

児童・保護者両方の結果からも「友達となかよく過ごす」ことはできていると考え、異学年交流を通して外遊びを楽しんだり、楽しかった外遊びをクラス遊びに生かしたりするなど意識して取り組んでいきます。

## ○「廊下歩行」「学校のきまりを守る」「タブレットPCの使用」について

割合では、1/4の児童が「廊下歩行」に「そう思わない（不十分である）」群と回答しています。しかし、毎日の学校生活の中で廊下を走っている様子はほとんど見ることはありません。

ただ、全ての場面で確認をしているわけではなく、また、安全な学校生活を守るためにも全校児童が廊下を静かに歩くという取組に力を入れていく必要を感じています。

「学校の決まり」や「タブレットPCの使用」では、昨年度よりも「そう思う（満足できる）」群は下

がっていますが、「そうは思わない（不十分である）」群は、10%未満で、「きまりを守る」「ルールやマナーを守っている」と回答している子がほとんどで、保護者アンケートも同様です。しかし、タブレットPCを家庭に持ち帰った際のルールについての記載もあります。

「学校のきまり」などについては、ルールを守ることだけを追求するのではなくきまりが存在する理由まで理解し、使いこなせるよう育てることが、「廊下歩行」や「タブレットPCの使用」についてのルールやマナーの向上に繋がると考えています。

## ○「宿題や家庭学習」「読書が好き」について

宿題については、昨年と同じく95%の児童が「やっている」という回答をしています。一方、同様の項目で、保護者は75%程度と大きく差が出ています。宿題に取りかかる際の保護者の皆さんから声かけが、児童の回答に繋がっているととらえています。特に、低学年の場合、「声をかける」に加え、「一緒にやってみる」など、家庭学習が定着するには、個人差があることも承知しています。

学校で学んだことを復習したり、興味あることを追究したりすることは、基礎学力の定着はもちろん「未来を生きる力」にも繋がります。今後も、宿題や家庭学習に対する取組を充実させていきたいと考えています。

「読書が好き」については、全校読書の取組など、継続しておりますが、約20%の児童が「そう思わない」群の回答をしています。今年度より、ボランティアによる読み聞かせも再開しており、全校読書の継続、図書室にある本の紹介など、次年度も読書の楽しさを伝えていく機会を充実していきます。

## ○「学校行事への取組」「係・委員会活動への取組」について

昨年同様、2つの項目については、「そう思う（満足できる）」の回答が90%以上となっています。学校生活の中で行事はもちろん、係・委員会活動では、一人一人がその役割を理解し、進んで働く姿を日常的に見ることができます。

また、同時にそんな姿を教職員だけでなく、学級の友達、異学年の友達も見ています。進んで働く子を認めることは、自己肯定感を育てます。それを見ている子たちは、その姿にあこがれ、その子の自己有用感を高めます。学校全体で子供たちの頑張りを認め、励ましながら「子供の居場所」をたくさん創っていきたいと思います。

今年度もアンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。くぬぎ台小学校は、保護者の皆様や地域の方からご意見を伺いながら、子供たちの学びや成長に繋がる教育活動をアップデートしていきたいと考えております。今後も引き続き、本校の教育活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。